

平成27年度 第2回常滑市総合教育会議

- 1 日 時 平成27年12月18日(金)
開会 15時25分 閉会 17時00分
- 2 会 場 常滑市役所4階第3会議室
- 3 出席者 常滑市長 片岡 憲彦
常滑市教育委員会
委員 長 渡辺 慶太郎
委 員 久田 孝寛
委 員 鬼頭 明美
委 員 渡邊 十三香
教 育 長 加藤 宣和
- (市長部局関係)
- | | |
|------------|-------|
| 総務部 総務課長 | 庄子 健 |
| 総務部 総務課副主幹 | 安藤 哲成 |
| 企画部 企画課長 | 水野 善文 |
| 企画部 企画課主査 | 鯉江 剛資 |
- (事務局関係)
- | | |
|---------------------|--------|
| 教育委員会事務局 教育部長 | 榊原 直樹 |
| 教育委員会事務局 学校教育課長 | 山崎 巖生 |
| 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課長 | 竹内 龍夫 |
| 教育委員会事務局 学校給食共同調理場長 | 杉江 勝 |
| 教育委員会事務局 学校教育課長補佐 | 伊藤 真由美 |
| 教育委員会事務局 学校教育課 | 小出 直輝 |
| 福祉部 こども課長 | 古川 章江 |
| 福祉部 こども課指導主事 | 赤井 治美 |
- 4 傍聴人 なし
- 5 協議事項 常滑市教育大綱(素案)について
- 6 報告事項 平成28年度教育予算について

7 会議の経過及び発言

○開 会

教育部長：まだお知らせした時間より少し早いですが、全員お揃いになりましたので、ただいまから第2回常滑市総合教育会議を開催いたします。

始めに片岡市長よりご挨拶申し上げます。

○片岡市長あいさつ

市長：こんにちは。日頃は常滑市の教育行政にご理解ご協力いただきましてありがとうございます。師走と言う大変お忙しい中、今日は第2回目の総合教育会議ということで、招集いたしましたところ教育委員の皆様におきましては、お忙しい中ご出席いただきまして、大変ありがたく思っております。

12月1日に市長として3期目に突入した訳ですが、丁度12月1日がイオンモールの竣工式ということで、最初の仕事がイオンモールの竣工式のあいさつでありました。スタートとしては、よいスタートを切れたかと思っております。

2期8年、2期目の時は「常滑再生」ということで、行財政改革に取り組んでまいりましたが、これからはホップ・ステップ・ジャンプの飛躍の3期目にしたいと思っております。常滑市がどんどん変わりますが、「明るく元気なまち常滑」の実現に向けて、また子供たち、また市民の皆さんが誇りの持てるまちにしていきたいということを願っております。

実は昨日、議題の中にもはいておりますが総合計画のことで、常滑中学校の3年生の生徒さんが第4次総合計画の評価とそれに基づいて第5次総合計画の9年後10年後の常滑市をどのようにしたらよいかを、クラスごとに授業数8時間を費やして、それぞれ班ごとにテーマを持って授業を行い、そのクラスの代表の生徒さんから要望書という形でいただきました。やはり今回の総合計画の中では、まちづくりこども会議というのも開催し、中学2年生の生徒さん方の意見も聞かせていただきました。やはり常滑市政に関心を持つこと、まちづくりについて自分たちの意見を言うことは大切なことだと、生徒さんの意見を聞いて思ったところでございます。

そのような中で、教育では、「次代を担う人材育成」を目指し、子ども一人ひとりに応じた教育の充実を図ることができるよう委員の皆様方のお力をいただきたいと思いますと思っております。簡単ではございますが、今日の総合教育会議よろしくお願いたします。

教育部長：ありがとうございました。では、次第に沿って会議を進めさせていただきます。常滑市総合教育会議設置要綱第4条に基づき、総合教育会議は市長が議事の進行を行うことになっておりますのでよろしくお願いいたします。

○議事事項

常滑市教育大綱（素案）について

市長：それでは、私が議長を務めさせていただきます。

では、本日の協議事項「常滑市教育大綱（素案）」について事務局から説明をいたしますが、まず始めに、常滑市教育大綱の基となる、現在策定中の「第5次常滑市総合計画（案）」につきまして、企画課長よりご説明申し上げます。

企画課長：資料1に基づき説明。

市長：何かご質問はございませんでしょうか。今、11月末現在、常滑市の人口は58,222人です。ご質問がないようですので、次に常滑市教育大綱（素案）について、事務局から説明をお願いします。

学校教育課長：資料2に基づき説明。

市長：ただ今事務局より教育大綱（素案）について説明がございました。何かご意見などございませんでしょうか。せっかくの機会でありますので、フリートキングで委員様方の教育に対する思いやご意見などがありましたらよろしくお願ひしたいと思います。委員長さんどうですか。

教育委員長：基本方針については、このような形で結構だと思います。フリートキングとはどのような事でもよいのですか。

市長：大綱についてと言うことではなく、教育についてのご意見等で結構です。

教育委員長：今日の教育委員会定例会でも、常東小の増築の問題について議論したのですが、常滑地区は人口が増加している中央部と、むしろ過疎化しているような周辺部という形で、児童数が減っている地区も両方併存している状態です。増加している地区については、教室数の確保などまだまだ目が離せないと思います。

あと減少している地区についても、学校の統廃合や校区再編と言うことも議論としてはしなくてはいけないのかと思うのですが、市長さんのお考えはどうでしょうか。

市長：同じ市域の中で、人口増加地区と減少している地区があるというのは、他の地域ではあまりないと思います。増える所は増えることばかり考えればいいし、減る所はその対策を考えればいいというのが一般的なのですが、うちのように増える所は増える、減る所は減るので、一律に統廃合などをやればよい訳ではありません。

教育長に学校の教室を新たに作るよりは、空き教室のある小学校に子供たちを送迎したらどうだろうかということをお話すと、教育長にやはり地域の学校だからそれはないでしょう。やはりそれぞれの地域で育つ子は、それぞれの地域にある学校に行くのが本当の姿ではないですかと言われてしまいます。とは言いましても、減っていく地域は、何とか子供たちを確保していき

たいということはどこでも思っていると思います。ただ、どのような方法がよいのかということは皆様方と話をしていかなければならないと思います。

南知多町のようにどんどん子供たちが減っていくとなると、小学校を統合して、スクールバスで今は送迎をしています。減っていく地域ばかりであればそのようなことができるのですが、逆に増えている地域もあると難しい問題かと思います。よい方法はないでしょうか。

他にはどうでしょうか。鬼頭委員さんどうですか。

鬼頭委員：この大綱の基本理念の「3家庭や地域社会との連携を深め、健全な幼児児童生徒の育成に努める。」という部分で、例えば私のような子供が成人して結婚しているという一般の主婦で、どのような形で子供たちに今までどのように関わってきたかな、これからどのような関わっていこうかなと考えます。

私は地域の犬野児童館にある母親クラブの活動をとぎれとぎれではありますが、ずっと続けており、昨日もお母さんたち5名くらいで、児童館のお掃除に来た子供たちに、ゲームをしてご褒美をあげようということで、色々なものを集めたり、買ってきたりして袋詰めし、50袋ほど用意しました。久しぶりにお母さんたちに会って、子供さんがおいくつになったかお聞きしましたら、大学生高校生うちは結婚して孫もいるというように、みんな子供が大きくなっていました。

児童館にくる子供たちはもちろん低学年の子供たちがほとんどで、もともとはそこに集まる子供たちのお母さんたちが自分たちの子供たちのために活動していました。学校が終わってその児童館という地域で遊ぶ子供の姿を見ながら自分の子供も含めて一緒に遊んでいた時代があったのですが、働くお母さんが増えてきて、そのような活動が少しずつなくなってきました。児童館に集う子供たちのお母さんは子供たちをそこに預けて働きに行くようになり、その中で犬野では、自分たちの子供はそこにはいないけども、時間を作ってそこに集う子供たちの遊びの場を何とかつなげていこうとする形がまだ一つ残っているのですが、来年度は西之口でそのような母親クラブがなくなるという話を聞くと、遊びの場がまた一つ減ってしまうのだなというちょっと淋しさがあります。

働くお母さんを支援する一方、学校が終わって集まる子供たちの遊びの場を支えるママたちがいなくなっているという現実があります。私たちが活動をする中でも、自分の子供がいなくなると活動することから身を引くお母さんもいますが、地域の私たちが支えていってもいいのではという発想の転換をしていくことで、何となく繋がっている地域がぽつぽつあります。自分のできる所をできるようにやっていくということで、この基本方針の3に少し関わっていけるかなと感じています。

市長：本当に今、小学校・中学校も児童館もそうだと思いますが、現役世代のお

子さんのいる親御さんは、常滑市に商業施設がたくさんでき、働く場がたくさんあるので、どんどん働きに行っていて、やはり家庭にいるお母さん方が少なくなってきたのが現実だと思います。朝の立哨等もどちらかと言うと、少しでも負担を軽くしよう老人クラブさんやスクールガードさんなど子供さんたちが大変大きくなっている方たちが一生懸命やってくださっています。

やはり地域の方が、地域の子供たちを育てていくということ、鬼頭さんのような活動をしてくださる方が、これからも増えてきてくださることを願いたいと思います。それでなくては、誰が子供の面倒を見るのかということになりかねません。学校には、草刈りなどをしてくださる学校応援団の方たちがたくさんいてくださることは、とても大切なことだと思います。

先ほどの学校の問題にも関わってくるのですが、統廃合などをすると地域の中で育つということが難しくなってくると思います。大人の考え方で無理無駄をなくそうとすることは、子供たちが地域で小学生が中学生に、中学生が高校生になるという地域で育てるという教育長の考えから言いますと、地域との関わりが全くなくなってしまうのでとても難しい問題だと思います。渡邊さんはどうですか。

渡邊(+)委員：最近起こった事件について考えているのですが、自分が子どもを守る会の役員をやっていた時に、鬼北小学校で「命を守る」ということについて、文章を書いて欲しいと言われ、その当時書いた文面を思い出します。

まず子供を守るためにお母さんたちが子供を一生懸命見てあげるべき。お母さんだけではなく、たくさんの方がその子供を見るべき。あと最後に親自身も何か楽しみだったり、趣味だったり毎日充実して生きるべき。親も充実していないとストレスを自分の子供たちに持って行ってしまい、守るべき親が実は子供の命を奪うことになりかねないということを何年前に書きました。そうしたら最近、今回のような飛香台の事件が起こってしまいました。

新聞などからでしか事件の内容はわかりませんが、親の事情で子供にストレスを発散してしまったと聞くと、命の守り方というのは本当に難しいと思いました。町から犯罪をなくすために、子供を守るためには、犯罪を減らすべきだと被害者はみんな言うのですが、加害者がいなければ被害者は絶対に出てこない。存在しない。この町から加害者をなくすことが、私は先決ではないかと思っています。

特に被害者に焦点を当てますが、実は加害者になる芽を摘むことが、もしかしたら町にとって大切なのではないか。犯罪の芽、もしかしたら孤独だったり、ストレスを抱えていたり、色々な方たちが不満持って生きていて、色々な部分でみんなが助けあえたり、本当の意味でみんなが手を差し伸べられるような環境が作れたら犯罪も減るのではないかと思っています。

子供とか教育というと子供に焦点が行くのですが、実はよい子供を作るためには、よい地域よい大人も私たちは作っていかねばいけないと思います。大きな目で見ると、そのような子供たちがのびのび育つ環境にするために、お父さんやお母さんたちが過ごしやすい環境を作り、市民が本当にこの町で暮らせてよかったなと思える町をつくるという考え方がとても大切だと思います。

鬼頭さんがおっしゃるように、では子供も手を離れ、結構時間もある自分は何ができるか。そのように思える大人がたくさん増えるには、地域の人たちが子供を見てくれたとお母さんたちが気付いてくれる必要がある。それで教育長さんが常々おっしゃられる地域で子供を育てなくてはいけない。全然違う地域の学校を使うことは簡単にでき、財政的に厳しい常滑市にとって、大人の目線でいけばとても都合がよい話ではあるが、近所の老人クラブの方やスクールガードの方に見守ってもらって、いつも見守っていただいたなと感じながら大人になると、その子たちは、自分が小さな時にそうやって守ってもらったなと思って大人になって、だから自分たちも子供たちを守らなければと思える。いずれ今一生懸命働いているお母さんで、子供たちから手が離れて、自分の時間が作れるようになった時に、ボランティアがやりたいな、何かこの町のために貢献できたらいいなと思ってくれる人が一人でも増えるためには、そのような地域の力が大切だと思います。

私も自分の子供を先生方や地域の方々に見ていただいたので、今何か町のためにできたらいいな。定年など仕事から離れた時も、ずっとボランティアで、子供だけでなくこの町に関わっていきたいと思っています。そのようなお母さんたちが増えることがやはり大切で、私たちがその見本になればいいし、そのようにどんどん若い世代のお母さんたちに繋がって行けるようなまちづくりがすごく大切だと思います。新しく来た地域になじみのないお母さんがこの何十年後にここに来てよかったと思えるように、私たちも真剣に考えていい町にしていきたいと思っています。

市長： 以前テレビで見たのですが、特殊出生率で沖縄県が断突1位でした。なぜ沖縄県が1位かというと、やはり地域の人たちが働くお母さんがいても隣のおじさんおばさんが学校から帰ってきてからちゃんと面倒を見てくれる。地域が子供たちを育てているから、全国的な出生率の1.48%ではなく、断突1位の出生率だということは、やはり生み育てる環境ができている地域だからだと思います。

今回、第5次総合計画にも記載しておりますが、「妊娠・出産・子育て」の切れ目のない支援体制の構築。これは行政側の事ですが、核家族化で親が近くに住んでないと、妊娠出産の時、また子育ての時にも一人だと不安になる。それがやはりストレスなることもあるでしょうし、家庭での夫の協力体制のあるなしなども家庭内の摩擦ができてくる。

やはりそういった中で、地域で子育てできる環境。地域で子供たちをみんなで見ることが出来る環境作り、十三香委員さんがおっしゃられるとおりで、そんなまちにしていきたいと思っておりますので、またよろしく願いいたします。久田委員さん、何かございませんでしょうか。

久田委員：私は基本理念の「常滑を誇りに思い」という所がとても大切だと思います。

今日、ラジオ聞いていまして、新潟県の出雲崎に住んでみえる方が上京した時、良寛さんの事を聞かれたそうです。良寛さんは出雲崎出身で、あなたの街には立派な人がいるねと言われましたが、その人はあまり良寛さんの事を知らなかったの、急ぎょ勉強したということでした。自分の地元にも有名な誇りに思う人がたくさんいるのに、自分が知らなかったということを反省したというお話でした。

常滑の良さを子供の頃から教えていく、知らせていくことで、将来自分の故郷が良いところなのだとして大人になっても誇りに思う意識を持ち続けることは大切だと思います。

学校訪問に行きますと、各学校で自分の地域の誇りを持てる良い所を学習していることはとても良いことだと思います。総合計画の中でも常滑市の良い所「世界に開くまち」「焼き物・海・空」など、どんどん常滑の良い所を子供たちに伝えていかなければいけないと思っております。

本当に常滑は良い所がたくさんあると思います。当然先ほど、十三香さんがおっしゃられたように、親や地域・もちろん学校もですが、子供に伝えていくということではないかと思えます。

市長：昨年、市制60周年で、28行政区の大切なしたいもの、未来に残したいものを「世間遺産」と言う形で取り組ませていただきました。それぞれの地域には、たくさん誇りの持てることがあり、それが常滑市を支えてくれる誇りではないかと思えます。

本当に、久田先生がおっしゃられるとおり、他市町の方の方が、例えば鈴浜義塾の事に詳しいということがあり、地元の方が知らないことは往々にしてあります。28行政区それぞれそこに住んでいる方は知っていても、28行政区のうちその地区以外の27行政区の方は知らないということではなく、他の行政区の方にも知ってもらうこと、それが常滑を知ることだと思います。それが自慢になったり、誇りになるだろうと思えます。本当にそのような事をしっかりやっていきたいと思えます。

他に何かご意見はございませんでしょうか。

委員全員：ありません。

それでは大変貴重なご意見をありがとうございました。

委員様のご意見も踏まえまして、常滑市教育大綱（素案）を修正し、平成28年4月に平成28年度第1回総合教育会議を開催し、常滑市教育大綱

(案)を提出させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

市長：それではご異議がありませんでしたので、平成28年度4月によりしくお願いいたします。

それでは、協議事項については以上で終わらせていただきます。

○報告事項

平成28年度教育予算について

市長：次に、報告事項「平成28年度教育予算について」、事務局から説明をいたしますが、初めに常滑市の財政状況及び平成28年度の予算編成方針につきまして、総務課よりご説明申し上げ、次に教育予算につきましてご説明申し上げます。よろしくご説明申し上げます。

総務課長：資料3の「常滑市の財政状況」に基づき説明。

総務課副主幹：資料3の「平成28年度の予算編成方針」について資料に基づき説明。

市長：引き続き平成28年度教育予算要求事業について、事務局から説明をお願いいたします。

学校教育課長：資料4に基づき学校教育課所管分予算説明。

生涯学習スポーツ課長：資料4に基づき生涯学習スポーツ課所管分予算説明。

学校給食共同調理場長：資料4に基づき学校給食共同調理場所管分予算説明。

こども課長：資料4に基づきこども課所管分予算説明。

市長：以上が、平成28年度教育予算要求事業についての説明でございました。この中で委員様が特に大切な事業であるなどお考えやご意見がございましたらお話いただけますでしょうか。

鬼頭委員：少しご質問させていただいてよろしいでしょうか。資料4の2ページ生涯学習課分の8番「総合型地域スポーツクラブ設立準備費」とありますが、この総合型地域スポーツクラブ設立を始めると、今現在4地区で行っている体育協会の活動は無くなるのでしょうか。これは全くの別の物なのでしょうか。

市長：生涯学習スポーツ課長よりご説明いたします。

生涯学習スポーツ課長：これは体育協会の協力を得て実施いたしますが、全く別のものです。今、体育協会が活動しているものにつきましては、県の言っている総合型地域スポーツクラブに非常に類似しています。と言うよりは、そのような活動をしておりますので、地域スポーツクラブが常滑市には不要だとしておりました。

しかし県の方から総合型地域スポーツクラブを全市町村に設置するとなりましたので、これを発展させるような形で、さらに最終的な目標としては

4 地区に総合型地域スポーツクラブを設定する方向で考えております。

市長：他によろしいですか。

渡邊(+)委員：先ほどから常滑市は空とか海とか外国からと言われていています。やはり英語教育のような外国語教育は、いち早く他の市町村よりも進めていくためにも1ページの学校教育課の1番「外国人講師招致事業」で授業時間を1時間増やすということは、予算の範囲内であるならばこのように少し進めていくということは、将来的にこの街の子供たちが英語に携わる職業に就く可能性がかなり高いと思いますので必要なのではと思いました。

あと13番の「地域未来塾事業費」も、あまり馴染みがないので、インターネットで検索して見てきたのですが、このような事業も良い取り組みだと思いました。自分も何か携わって協力できたらと思いました。これは、大きな予算が必要なのですか。

市長：学校教育課長お願いします。

学校教育課長：進め方によると思いますが、今後検討していきます。

市長：他によろしいでしょうか。

委員全員：ありません。

市長：貴重なご意見ありがとうございました。平成28年度予算については、現在策定中ですが、予算編成につきましては、十分審議させていただき、議会で議決されました後、事務局より詳しい内容につきまして、ご説明申し上げますのでよろしくお願い致します。

市長：報告事項については以上で終わらせていただきます。ありがとうございました。

市長：次にその他でございますが、何かありますでしょうか。何か委員の皆様からご意見などございましたら、お願いしたいと思いますがいかがでしょうか。全般的に教育長何かありましたらよろしくお願い致します。

教育長：今日はこのような会を設けていただき本当にありがとうございました。教育委員会といたしましては、いつも大変財政的には厳しい常滑市ではありますが、市として進めておりました特別支援教育、ICT教育、先ほど十三香委員からお話がありました外国語教育ですが、TSIEという本当に素晴らしい組織があるので、そのような所で子供たちが自ら英語や外国語を学ぼうという気持ちになる。あのような体験的に学ぶことは本当に大切なことだと思っています。

いつもそのような所に予算が厳しい中、市長さんをお願いをしているわけですが、教育に目をかけてくださり本当に感謝しております。これからは是非、教育にご配慮いただき、明日を創る子供たちが、常滑を誇りに思う子供たちが、育っていったらと思っております。本当に今日はどうもありがとうございました。

市長：他によろしいでしょうか。なければ以上で、第2回総合教育会議の議事を

終了させていただきます。

教育部長：ありがとうございました。貴重なご協議ありがとうございました。それでは、第2回の総合教育会議を閉会とさせていただきます。

8 閉会